



ここだけの話ですが

ごしんぼく

御神木絵の巻

御神木

たぐちえつお

★ 操作方法 ★

マンガのページの上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。

※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。

※ iPad では、上下スクロールでご覧いただけます。

樹齢八百年のこの大杉は「御神木」と呼ばれ毎年数多くの参拝者が訪れていた

この神木の言い伝えによると昔、この神木にいたずらな神の子が住んでいてある日の事
おおがみ 大神様が大切にしていた墨と筆と硯を隠してしまった



怒った大神様は神の子を神木の中に封じ込めてしまった



それから二十年の歳月が過ぎ墨・筆・硯が見つかった

大神様は神の子を許し神木から封印を解いたのでした



年頃になっていた神の子は神木の守護神として参拝者の願い事に耳を傾ける日々を送っていました



御神木は願いが良く叶うという事で

休日ともなると遠方から多くの参拝者が訪れていました



その中には美術大学の青年も御神木を描きに来ていたのでした



娘の姿は神の子であるため人間の青年にはみえなかったのです

それでも娘は青年に心をひかれていきました



青年自身
気付いていなかったが
青年の体はガンに
侵されていました



娘は大神様に
自分の命を
削ってまでも
青年の延命を
嘆願したのでした

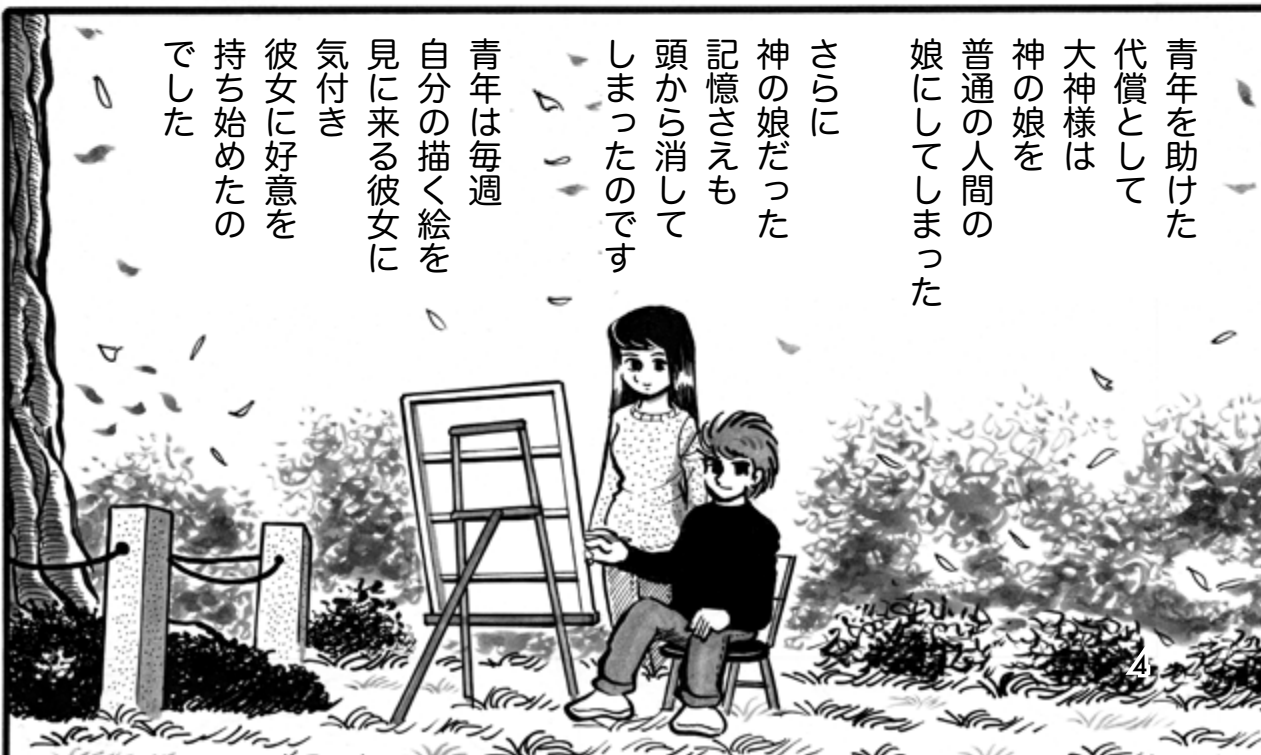
その結果
青年の体内から
ガン細胞が消えたのでした



ウワオー
なんだか
からだ全体が
楽になったぞ

良かったわ

青年を助けた
代償として
大神様は
神の娘を
普通の人間の
娘にしてしまった



さらに
神の娘だった
記憶さえも
頭から消して
しまったのです
青年は毎週
自分の描く絵を
見に来る彼女に
気付き
彼女に好意を
持ち始めたの
でした

二人は毎週
御神木の前で
会えるのが
楽しみだった



ある日娘は
青年に
なぜ御神木の絵を
描くのか尋ねてみた

すると青年は答えた
ある夜のこと 夢枕に
神様が現れ
流山神社の御神木の絵を
描いてほしいと

描かないと御神木が
枯れてしまうと
お告げがあったことを

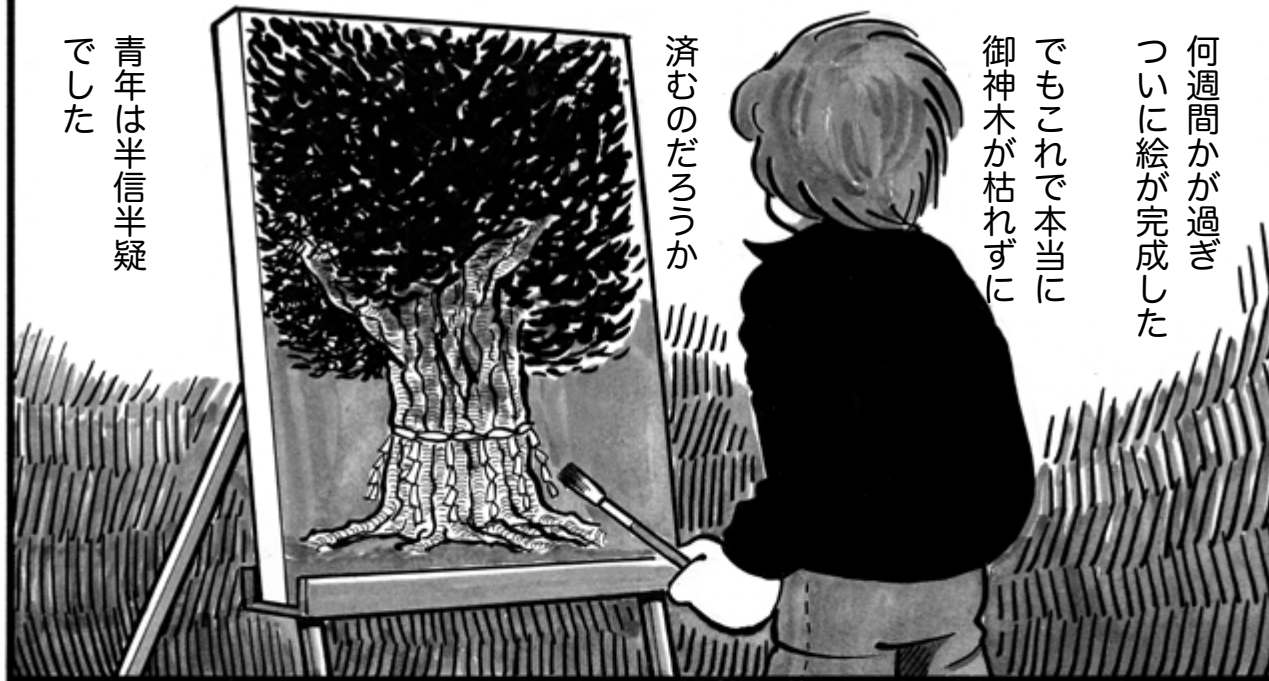


何週間かが過ぎ
ついに絵が完成した

でもこれで本当に
御神木が枯れずに

済むのだろうか

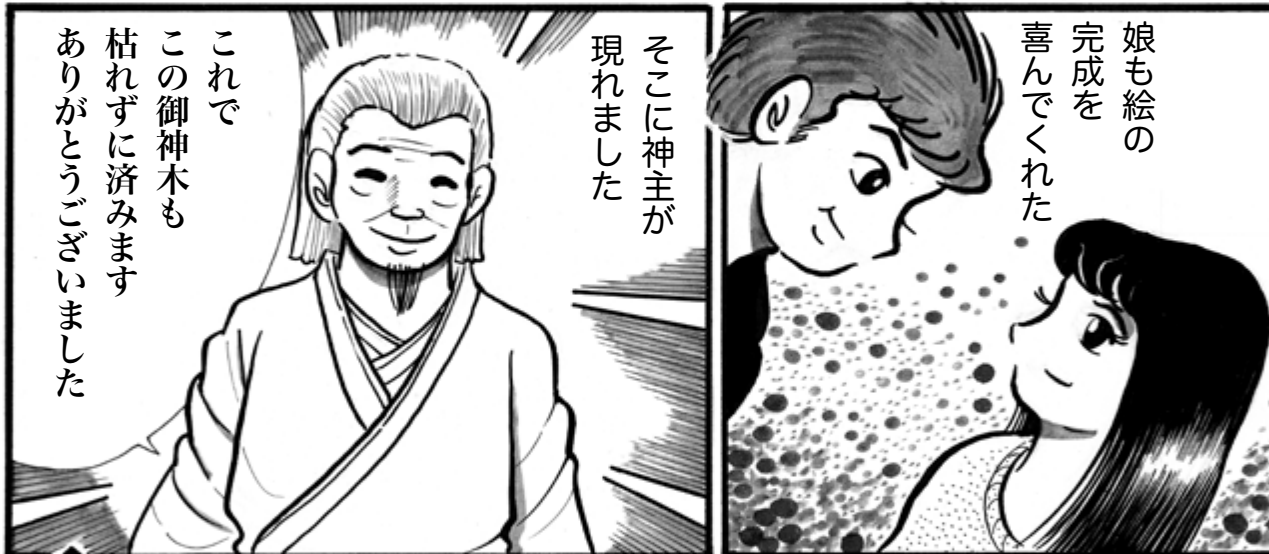
青年は半信半疑
でした



娘も絵の
完成を
喜んでくれた

そこに神主が
現れました

これで
この御神木も
枯れずに済みます
ありがとうございます



どうしてその事を
知っているのですか？

実は
夢の中で
絵をお願い
したのは
私なんです



私は生まれつき
霊的なパワーが
強いものですから

あの、
その絵を神社へ
奉納して
いただけませんか
でしょうか

もちろん
いい
ですよ

やあ
ありがとうございます
ごきげん



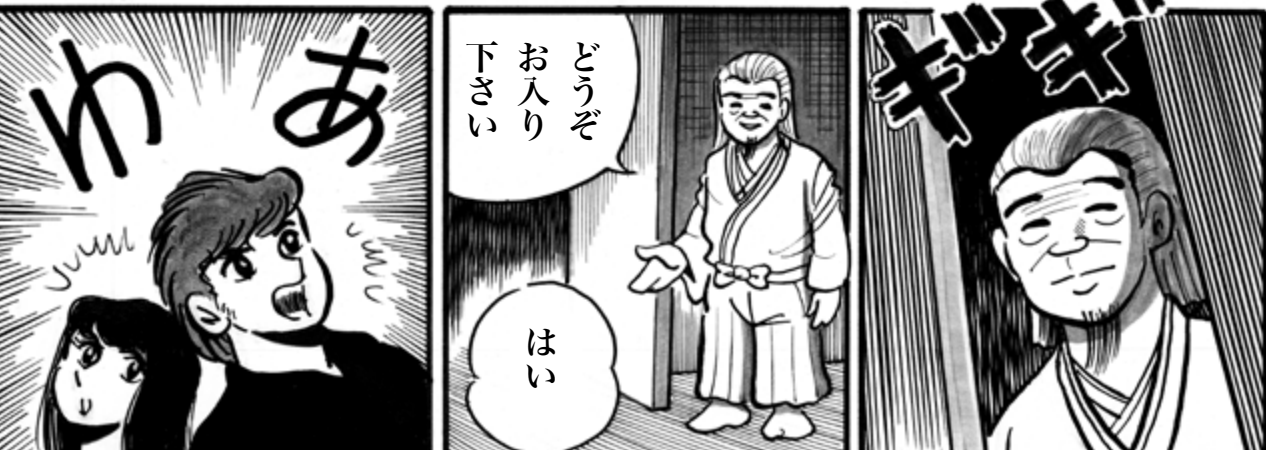
よろしければ
一般の方は
入れない
神宮の中を
ご案内
いたしましょう

本当ですか
お願い
します



どうぞ
お入り
下さい

はい



内部は意外と広く
壁全体に御神木の
絵が所狭しと
飾られていたのです

あ……

お気付かな
絵は全て
御神木です

それも
三十年毎に
描かれています

丁度
今年が前回
描かれてから
三十年目に
あたります

あの、
お聞きしますが
御神木を描くことに
何か意味が
あるのでしょうか？

絵をお願いした
あなたですから
お話ししよう

御神木は多くの人の
願い事を幹が枯れる程
親身になってお聞き
下さるため

御神木自体
限界がきて
しまうのです

ですから枯れる前に
この神社に代々伝わる
墨・筆・硯を使って

三十年ごとに
新しい御神木の絵を
描いて甦えさせる
必要があるのです

絵師も神から
選ばれた
あなたでなければ
ならなかったのですヨ

……

あなたが
描いてくれた絵で
三十年間は
御神木が枯れずに
すみます
大変ありがとうございました

さらに神主は
二人に対し
次のようなことを
話した

二人は
御神木の前で
巡り会う
運命だったと



そして
二人は将来
結婚して
その子供が
三十年後に
御神木の絵を
描くことに
なるんだらうこと

なんで

そんなことまで
分かるんですか



なんで

?



分かり
ますとも

そい



それは私が
あなた方二人の
運命を
導いている
からですよ

一般的には
指導霊と
呼ばれて
いますか

この話が本当かどうか
あなたも三十年後に
御神木の前に来て
確かめてみては
いかがでしょうか

ここだけの話ですが「御神木絵の巻」

おしまい